

歯科研修医評価票Ⅲ

研修医名		プログラム責任者	
指導歯科医名		備考	
記載日	令和 年 月 日	観察期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

評価票Ⅲ「C. 基本的診療業務 1. 基本的診療能力等」に関する評価

研修医評価 A：十分に理解し、すべて自分で実践できる[安全に出来る] B：理解し、ある程度自分で実践できる(少し助言が必要)
 C：理解に多少の問題があるが、指導すれば実践できる D：知識、技術、理解ともに不十分/経験なし

C-1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画（到達目標：一連として50症例） ※研修内容はプログラム参照	研修医 自己評価	指導歯科医評 価	経験症例数
①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。			
②全身状態を考慮した上で顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。			
③診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し検査結果を解釈する。			
④病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。			
⑤診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。			
⑥必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。			

C-1-2.基本的臨床技能等 ※研修内容：外来及び入院患者診療において実施し内容はプログラム参照	研修医 自己評価	指導歯科医評 価	経験症例数
①歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。（到達目標：10症例）			
②基本的な応急処置を実践する。（到達目標：15症例）			
③歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。 （到達目標：5症例）			
④診療に関する記録や文章(診療録、処方箋、歯科技工指示書等)を作成する。（到達目標：10症例）			
⑤医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。（医療安全講習会受講：必須）			
⑥一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。 （到達目標68症例）	研修医 自己評価	指導歯科医評 価	経験症例数
a. 歯の硬組織疾患（到達目標：2症例）			
b. 歯髄疾患（到達目標：2症例）			
c. 歯周病（到達目標：20症例）			
d. 口腔外科疾患（到達目標：40症例）			
e. 歯質と歯の欠損患（到達目標：2症例）			
f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下（到達目標：2症例）			

C-1-3.患者管理 ※研修内容：外来及び入院患者診療において実施し内容はプログラム参照	研修医 自己評価	指導歯科医評 価	経験症例数
①歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。（到達目標：20症例）			
②患者の医療情報等について、必要に応じて主治医等と診療情報を共有する。			
③全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。 （到達目標：20症例）			
④歯科診療時の主な併発症や偶発性への基本的な対応法を実践する。（到達目標：5症例）			
⑤入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。 （到達目標：20症例）			

C-1-4.患者の状態に応じた歯科医療の提供 ※研修内容：外来及び入院患者診療において実施し内容はプログラム参照	研修医 自己評価	指導歯科医評 価	経験症例数
①妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し各ライフステージに応じた医科診療科依頼の歯科疾患の基本的な予防管理、口腔外科治療に関する周術期口腔機能管理について理解実践する。 （到達目標：5症例）			
②各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。医科診療科と連携により有病者の歯科医療をおこなう。 （到達目標：1症例）			
③障害を有する患者への対応を実践する。（到達目標：1症例）			

評価票Ⅲ「C. 基本的診療業務 2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等」に関する評価

研修医評価 A:十分に理解し、すべて自分で実践できる[安全に出来る] B:理解し、ある程度自分で実践できる(少し助言が必要)
C:理解に多少の問題があるが、指導すれば実践できる D:知識、技術、理解ともに不十分／経験なし

C-2-1.歯科専門職の連携 ※研修内容:外来及び入院患者診療において実施し内容はプログラム参照	研修医 自己評価	指導歯科医評 価	経験症例数
①歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。(到達目標:10症例)			
②歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。 (到達目標:1症例)			
③多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。 (到達目標:5症例)			

C-2-2.多職種連携、地域医療 ※研修内容:外来及び入院患者診療において実施し内容はプログラム参照	研修医 自己評価	指導歯科医評 価	経験症例数
①地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。(入職時オリエンテーション受講:必須)			
②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。(入職時オリエンテーション受講:必須)			
③がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。 (到達目標:3症例)			
④歯科専門職が関与する多職種チーム(例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等)について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。 (到達目標:1症例)			
⑤入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。 (入職時オリエンテーション受講:必須)			

C-2-3.地域医療 ※研修内容:外来及び入院患者診療において実施し内容はプログラム参照	研修医 自己評価	指導歯科医評 価	経験症例数
①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。(保健所研修受講:必須)			
②保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。(保健所研修受講:必須)			

C-2-4.歯科医療提供に関連する制度の理解 ※研修内容:外来及び入院患者診療において実施し内容はプログラム参照	研修医 自己評価	指導歯科医評 価	経験症例数
①医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。 (保健所研修受講:必須)			
②医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。(入職時オリエンテーション受講:必須)			
③介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。(入職時オリエンテーション受講:必須)			

総経験症例数：

指導医報告レポートタイトル	指導医確認	備 考
・地域包括ケアシステムについて理解し、歯科医療の役割を説明する。		
・地域の保健、福祉の関係職員、関係職種を説明する。		
・保健所等における地域歯科保健活動を説明する。		
・医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを説明する。		
・介護保険制度の目的と仕組みを説明する。		

特記事項